

令和4年度 第3回 都市環境デザイン委員会議事概要

日時：令和5年2月16日（木）13：30～

場所：帯広市役所10階第5A会議室

【出席委員】

赤嶺委員長、府川副委員長、青木委員、数田委員、紅葉委員、和田委員

【事務局】

岡田都市政策課長、中島都市計画係長、原田主任、三浦主任補

【説明員】

動物園：杉本副園長、金津主任

住宅営繕課：中鉢主任、吉田主任補

【議事概要】

1 開会

「帯広市都市環境デザイン委員会設置要綱第6条第2項」に基づき、半数以上の委員が出席していることから、会議が成立することを確認した。

2 委員長挨拶

3 議事

報告事項（1）第17回帯広市まちづくりデザイン賞 表彰式について

事務局より、表彰式について報告。

委員からの意見・質疑等はなし。

報告事項（2）令和4年度都市景観形成主要建築物等の進捗報告について

担当課より、今年度の都市景観形成主要建築物等の対象案件である①「馬ふれあい舎」及び②「(仮称)キリン舎」について進捗状況を報告。

委員からの主な意見・質疑等は次のとおり。

① 「馬ふれあい舎」

(委員)

駐車場から最初に見える位置にあるため、最初に外から見えるようにしたいという意見が以前挙がっていたと思う。馬とのふれあいが出来るということなので、休憩できる場所や人が滞留できる場所にするのが良いのではないか。また、ばん馬や道産子は使役動物で、人間と一緒に仕事をしている姿が本来の姿であり、そういった様子も見せることが出来ると良いと思う。

(委員)

園に入ってから馬舎に向かって行く時に、馬がいることがわかるような表現があったらいいのではないかと。子どもが見たときに喜ぶような、ゲートのようなものが良いと思う。

(説明員)

利用者駐車場側にある既存のネットフェンスを継続して使用し、駐車場から見通しが良くなるよう計画している。また、将来的に馬つなぎ場を作る構想もあり、にぎやかな様子が駐車場から感じられることになると思う。

(委員)

外壁の色はどのような予定か。

(説明員)

木材の横張りで、濃い木の色となる予定である。

(委員)

ある程度の雨水は暗渠で排水できると思うが、切土したところから水分が滲み出して表面が汚くなると思われる。馬が土で汚れると、子どもによっては馬に触れなくなると思うので、水はけについて配慮できたら良いと思う。

(説明員)

ふれあい広場は土のままではなく、ウッドチップを敷き詰める予定である。排水計画も工夫し、水が溜まらないような空間になるよう努める。

(委員)

馬ふれあい舎の周囲は樹木が多く森の感じが出ており、日陰で薄暗い印象を受ける。動物園全体の環境管理として、影の場所、明るい広場のような場所のバランスや管理方針を長い目で考えて行ってもいいのでは。

(説明員)

高木が2本あり、馬ふれあい舎を建築する関係で木の先端を少し切る予定である。共栄通側の樹木は動物園の敷地外のものであり道路管理者と協議が必要になると思われるので、今後確認していく。

② 「(仮称)キリン舎」

年度をまたいだ設計事業であり、来年度も引き続き協議していくことを確認。

その他(1) 令和5年度帯広市都市環境デザイン委員会の予定について

事務局より、令和5年度の委員会予定について説明。

委員からの意見・質疑等はなし。

4 閉会

以 上